

定例会関係について

(一般質問・委員会質問)

一般質問

2022年12月定例会 一般質問

2022年12月8日 新潟日報掲載

●部活動の地域移行について

中学部活の「地域移行」 指導者確保へ認定制度

長岡市議会 市側が方針示す

長岡市議会は7日、12月定例会本会議を開き、4氏が一般質問した。公立中学校の休日の部活動を地域のスポーツクラブなどに委ねる「地域移行」の取り組みや、不登校の児童生徒の支援策など学校教育を巡る課題を議論。地域移行について市側は、市独自の資格認定制度を設けるなどスポーツ指導者の確保に乗り出す方針を示した。

国は地域移行を来年度か

長岡市議会は7日、12月定例会本会議を開き、4氏が一般質問した。公立中学校の休日の部活動を地域のスポーツクラブなどに委ねる「地域移行」の取り組みや、不登校の児童生徒の支援策など学校教育を巡る課題を議論。地域移行について市側は、市独自の資格認定制度を設けるなどスポーツ指導者の確保に乗り出す方針を示した。

安達敏幸教育部長は「市内の大学生らにも指導に携わってもらえるよう募集を呼び、人材バンクを設立することも検討している」と述べた。指導者としての質を確保するため、研修会や市独自の資格認定制度を設



ける考えも示した。

一方、市は市立小中学校で21年度、病気などの理由を除いて年間30日以上欠席した「不登校」の児童生徒が、460人だったと明らかにした。17年度は248

学校教育の課題が議論された長岡市議会12月定例会の一般質問7日、アオーレ長岡

人で、年々増加している。

桑原望氏（無所属）は不登校の子どもへの支援策を巡り、生活リズムの改善や学習の遅れの解消につながるとして「オンライン授業」の実施を提案した。

金澤俊道教育長は「不登校は最重要課題だと認識している」とした一方、個々の学習の進み具合が異なることなどを挙げ、「オンライン授業はニースや効果の検証が必要だ」と述べるにとどめた。

一般質問

2024年6月定例会 一般質問

2024年6月13日 新潟日報掲載

●災害時の対応及び 防災・減災について

長岡市 防災新システム検討 情報収集 発信 迅速化へ

長岡市の磯田達伸市長は12日、災害に関する情報収集し、発信する新たな防災システムの導入を検討していることを明らかにした。現在は情報を取りまと

めや発信を作業で行う場合があり、省力化や迅速化が課題となっていた。2026年度の導入を目指し、先進地の研究などを進める。

発信するような施策に力を入れてほしい」と求める。著しく進んでいる少子化、高齢化は喫緊の課題だ。与板地域の70代女性は「自動車の運転ができなくなる、通院などをするためのバスの便が悪い。地域の情報を踏まえた交通政策に力を入れてほしい」と強調する。子育ての駅ぐんぐん千歳」を利用していた男性

12日に行われた市議会6月定例会の一般質問で、松野憲一郎氏（長岡令和クラブ）に答えた。磯田氏は「情報の集約から情報発信までを一連に行うシステムの導入は、有効な手段だ。導入について検討していく」と話した。

市によると災害時は、職員のパトロールや市民からの情報提供などでつかんだ被害状況を、職員の専用チャットなどで共有しているが、情報の集約や経過の把握、市民向けの発信は手作業で行うこともある。導入を図るシステムで、作業のデジタル化、自動化を目指すほか、被害状況を地図情報と連動させる仕組みや人工知能（AI）の活用も検討する。

長岡市 長岡 5年ぶり公開 関心高く 栖吉神社保管 元首相らの書



入澤義和・危機管理防災システムを進め、災害経験でも対応できるようにしたい」と話した。

首相経験者らの直筆の書を並べた展示＝長岡市栖吉町

長岡市の栖吉神社で長年、町集落センターで展示され保管されている首相経験者らの直筆の書を、来場者は

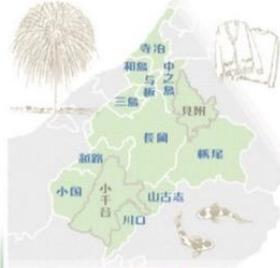
じっくりと見入っていた。書の公開は2019年以来5年ぶり。来年に、町内の六つの神社が合併し栖吉神社となつてから100年を迎えるのを記念し、栖吉神社と町内会が企画した。書の多くは、吉田茂、佐藤栄作両元首相ら政界の著名人と親交のあった神社役員（故人）が、昭和初期から奉納したもので、神社の宝物として管理されてきた。会場には、佐藤栄作元首相の「言忠信行篤敬」、田中角栄元首相の「敬神崇祖」、連合艦隊司令長官・

一般質問

3 12 15 18 21 24
最高 32 最低 24

本社 代表 0258(34)9600
40-0082 報道部 (34)9633
市千歳 1-3-43 FAX (34)9660
n-nagaoka@niigata-nippo.co.jp

長岡 見附 小千谷



自由帳



長岡市 表町小3年 金山 紗香

わたしのしよるのゆめは、イラストレーターになることです。理由は、絵をかくことが大好きだからです。図かんを見て生き物の絵をかいたり、タブレットのお絵かきアプリで練習をしたりしています。かいたイラストでマスコットを作って遊ぶのも楽しいです。もっと絵も工作も上手になりたいです。かわいい絵や、かっこいい絵など、いろいろなものをかけるようになります。

2024年6月定例会 一般質問 2024年8月28日 新潟日報掲載

●災害時の対応及び 防災・減災について

災害時の倒木、産学官 共有

長岡技科大とNIT東(東京) プラットフォーム開発

災害時のインフラ復旧を、大学・長岡市・上高岡町と、早めようと、長岡技術科学大学・東は、倒木



長岡技科大とNIT東日本が開発した「プラットフォーム」の主な画面。自治体、インフラ企業が共有するデータ盤を開発した。現場の写真や位置情報が地図上共有され、各機関が行っていた現場確認や電話連絡の手間が省ける。警戒本部が設置された時から開始する。これまででは倒木があるなど、各機関がそれぞれ現場に赴く必要があり、作業の進捗を電話で共有していた。本県では2023年度の冬季に、長岡市などで雪による倒木が発生、道路にはみ出たり、電柱に干渉し

eco検定 受検料助成

長岡市などで、省エネ・再エネ産業振興プラットフォームは、事業者の従業員向けに、環境社会検定試験(eco検定)の受験料の助成を始めた。キャリアアップや企業価値向上を支援する。eco検定は2009年に始まり、東京商工会議所

エコ検定 受検料助成

長岡市などで、省エネ・再エネ産業振興プラットフォームは、事業者の従業員向けに、環境社会検定試験(eco検定)の受験料の助成を始めた。キャリアアップや企業価値向上を支援する。eco検定は2009年に始まり、東京商工会議所

を共有。情報に基づき、被害が出ている道路や電柱を管理する担当者が現場で復旧作業を行うといった流れを想定している。現場確認や、自治体・企業間の電話のやりとりといった手間が減り、復旧までの時間短縮が期待できる。地図上では作業の経過も記録されるため、進捗管理がしやすいと見られる。

対象エリアは長岡市内で、県や東京電力、東北電力など7機関が参加する。地域防災実践研究センターの三浦史教授は、まずは長岡で実績を積み、将来的には対象エリアを拡大したいと話す。三浦教授は「研究機関と自治体、インフラを接続し、民間企業や組織の連携を促す」ことで、災害からの復旧に役立てていきたいと話している。

高年齢者から280万円をだまし取った疑いで埼玉の男再逮捕。おれおれ詐欺で高年齢者から現金や80万円をだまし取ったとして、長岡市、江南市、警察本部が捜査対象と見られる。詐欺の疑いで埼玉県伏町の男を再逮捕した。再逮捕は19日、富山市の代女性宅で、共謀した同業者の女性の悪手を受けて電話をかけた、男を至急逮捕とされているので、代わりに行へようと言いつつ、富山内の路上で女性の現金200万円をだまし取った疑い。富山県にまた、白石警察署は女性からだまし取った現金などを、受け取り、回収する役

石動南町 田村 龍平
長岡市・23日届け出
平島 2 菅井 秀輔
関原町 1 松本 秀輔
野上ハルン
85 90 69 86 103

一般質問

2025年3月定例会 一般質問

2025年3月8日 新潟日報掲載

●カスタマーハラスメントについて

長岡市議会
一般質問

市職員3割カスタマーハラスメント経験 対応マニュアル策定へ

市長「クレームには毅然と」

長岡市は7日、市議会3月定例会本会議を続開し、5人が一般質問した。市職員への「カスタマーハラスメント」（カスタハラ）対策について、磯田達伸市長は、対応マニュアルの策定を準備していることを明らかにした。マニュアルは2025年度中に策定し、市民課など窓口で対応する職員らが活用する。

市は24年9月、会計年度任用職員を含む全職員約4400人に対して、市民からカスタハラを受けたかどうかについてのアンケートを実施。23、24年度の2年間で28・5%の職員が、暴言

磯田市長は「市民からの申し出や苦情は、行政の業務改善につながる大切な機会だ」と述べた上で「常識の範囲を超える不当なクレームは、職員の過度な精神的ストレスになる。組織として職員を守り、毅然として対応したい」と話した。松野憲一郎さん（長岡令和クラブ）に答えた。



一般質問について

- 一般質問は市民の皆さまとの対話や労働組合のつながりでの対話からヒントを得ている。
- 市政の全般にわたり、市長などの執行機関に対し、執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、報告・説明を求めたりする。
- 一般質問を行う際は、あらかじめ議長に 趣旨などを通告することになっている。
- 通告後、理事者側と打合せを行い質問と答弁の食い違いが無いようにしている。



産業市民委員会質問について

1、長岡駅周辺のカラスの追い払いについて

(1) 市に寄せられている苦情とカラス対策の概要

(2) 駅からの追い払いによる周辺への影響

2、寺泊海水浴場について

(1) 海水浴場の入込状況について

(2) 海岸清掃について

(3) 令和元年10月台風19号による

海岸漂着物への対応

3、まちなか周遊観光について

(1) 河井継之助記念館の来館状況について

(2) まちなか周遊観光や周知の方法について

(3) まちなか周遊観光の情報発信について

※配電用地上機器塔を活用した情報発信について



配電塔の状況（長岡駅前）



配電塔のラッピングによる
情報発信を提案（長岡駅前）

※イメージ図（ラッピング後）



※東北送配電サービス（株）HP参照

産業市民委員会質問について

1、消防団の今後の在り方について

(1) 消防団員減少の背景と理由について

(2) 新潟県消防団大会に向けた代表選考について

(3) ポンプ操法競技会も変革期であると感じるが本市の認識について

(4) 今後の消防団の在り方も時代に合わせ変化が必要と思うが、本市の考えについて



グ後)

西
作

